

小児へのARTの実施は困難な場合がある

- ARTの有効性は、小児に関するデータが不足しているため、成人を対象とした臨床試験で得られたデータから推定することが多い。
- 小児と成人には、年齢による大きな相違が存在する。
 - 身体組成、腎排泄、肝代謝、消化管機能
- 乳児および小児の治療用量は入手できない場合がある。
- ほとんどの抗HIV薬に関して、小児用の液体製剤や口当たりの良い製剤がない。